

第80回滋賀県入札監視委員会 会議録（要旨）

日 時	令和元年7月2日（火）9：30～11：25
場 所	県庁本館4階 4-A会議室
出席委員	杉浦委員長、高橋委員、中本委員、山本委員

結果

該当期間の入札契約手続きに問題は見られなかった。

議題（1）滋賀県発注工事等に関する入札・契約手続きの運用状況等の報告（平成30年12月～平成31年3月）について

事務局	<p>下記資料を事務局より説明</p> <p>（資料1）入札方式別発注工事総括表</p> <p>（資料2）入札方式別発注工事一覧表</p> <p>（資料3）入札参加停止等の運用状況一覧表</p> <p>（資料4）審議対象工事等一覧</p> <p>（資料5）滋賀県発注工事等落札率の推移</p> <p>（資料6）落札決定誤りの状況一覧表</p>
委員長	落札率について、4半期ごとの状況を調査したことはあるか。
事務局	年度ごとに集計しており4半期ごとはない。
委員長	平成30年4月から低入札価格調査の対象が拡大されているので変動があったのか確認されてみてはどうか。

議題（2）抽出された工事等の競争参加資格の設定方法等の審議について

①番号231【平成30年度 第22-9号 高島浄化センター汚泥処理機械設備工事】

北部流域下水道事務所 一般競争入札（簡易型）

発注機関	（概要説明）
委員	この工事はスクリープレスを購入して設置するのか。
発注機関	工場でスクリープレスを製造して設置する工事である。
委員	応札は一家だが、他の会社が落札しても同じ会社で購入することになるのか。

発注機関	仕様書では多くの業者が応札できるようになっている。 既設設備が落札業者の納入であり設計や調整のコスト減が見込めることから他の会社が応札を控えた可能性がある。
委員 事務局	湖西でも同種の工事をやっていたかと思うが、複数の応札はあったのか。 同種の工事ではないが、一社のみではなかった。
委員長	新規の参入を促進するために、事前に既設設備の情報を入手できるよう発注側が努力する必要がある。
委員 発注機関	建築では増築する場合は既存の建築物の情報は伝達されるようになっている。 業者のノウハウとして持っているものもあるので発注側として入手するのが難しい部分もある。
委員長	手続は適切と判断してよいか。(各委員了承)

②番号 293【平成30年度警 第122号 交通信号灯器改良工事 (その1)】

警察本部会計課 一般競争入札 (事後審査型)

発注機関	(概要説明)
委員 発注機関	実情に応じて警察庁が示している仕様書を変えることはあるのか。 警察庁仕様に合わせているものになっている。
委員長 事務局	設置と製作が別の発注となっているが、分ける理由はあるのか。 地元企業への受注機会拡大を前提に発注している。制作は全国共通の仕様で県外業者に競争力がある。設置は県内業者で施工できる。
委員 発注機関	この工事は10か所くらい同時に実施するのが一般的なのか。 おおよそこれくらいの規模で調査ができたものからやっている。
委員長 発注機関	県内全体の設置機器更新のスケジュールは把握しているのか。 交通規制課で把握している。
委員長	手続は適切と判断してよいか。(各委員了承)

③番号 366【平成30年度 第5050-2号 土砂災害警戒区域等設定業務委託】

砂防課 一般競争入札 (制限付き)

発注機関	(概要説明)
------	--------

委員長 発注機関 委員 発注機関 事務局	技術提案で欠格があるがその理由は。 技術提案が求められているものと異なっていたためである。 なぜ異なったものが提出されたのか。 同時期に同種の業務を公告しており別の技術提案を求めている。業者が勘違いしたと考えている。 着目点は公告に掲載する様式に記載されている。
委員 発注機関	提案される技術提案は、業者によって差が出るのか。 今回は特に大きな差はなかった。
委員 発注機関	地元への説明や聞き取りは業務に入っているのか。 地元への説明は県が行っている。調査の際には地元からの声などの情報も反映させている。
委員長	手続は適切と判断してよいか。(各委員了承)

④番号 510【平成30年度 第1-3号 大津港花噴水キュービクル漏電ブレーカー改修工事】

大津土木事務所 随意契約

発注機関	(概要説明)
委員 発注機関 委員 発注機関 委員 発注機関 委員 事務局	電気設備工事の業者であればできる工事であると考えてよいのか。 そのとおりである。 供用開始から24年経過している。技術者も変わっていると思われる。この業者でなくてはいけない理由が弱いのではないのか。 技術は会社の中で引き継がれている。改修するためには花噴水のシステムを熟知し、システムをチェックしながら漏電ブレーカーの交換を行う必要がある。 設計施工やシステムに特許があるのか。 特許はない。 どの業者でも設計ができて施工ができるということか。 他の業者ではシステムの内容がわからないため詳細な解析が必要で時間を要することになる。花噴水は毎日稼働させる必要があることから速やかな改修が必要であり随意契約とした。
委員長 事務局	動作が不安定となったまま長い期間が過ぎており、その経緯の説明が必要だ。 過去から不安定な部分はあったが、予算的に厳しい状況もあり様子を見ながら使用してきた経緯がある。今回は漏電による火災等が想定され対策が必要な状態となっ

委員 発注機関	たと判断した。 今回の改修は漏電ブレーカーを全て交換したのか。 そのとおりである。
委員 事務局 委員長	指定管理の契約に改修は含まれていないのか。 100万円までの修理、修繕であれば指定管理者が行うことになっている。 定期的な設備更新の予算を確保する仕組みがあったほうがよいのではないか。
委員 発注機関 委員 事務局	今回の改修で今後20年くらい対応できるのか。 漏電ブレーカーは対応できるが、他の設備は更新が必要になる。 同じ業者が更新を請け負うのか。 全体的な設備の更新であれば競争性があるので随意契約とはならない。
委員長	手続は適切と判断してよいか。(各委員了承)

⑤番号 20【平成30年度 第B792-2号 飯浦大音線他補助道路修繕工事】

長浜土木事務所木之本支所 一般競争入札（簡易型）（低入札）

発注機関	(概要説明)
委員長 発注機関 委員長 事務局	若手・女性チャレンジ型モデル工事で実施したのはなぜか。 各土木事務所で1件実施することとしており本件が該当した。 若手・女性チャレンジの要件は業者からどうみられているのか。 応札者の大半が対応いただいていると考えている。
委員 事務局	追加の条件が厳しいように見えるが、低入札価格調査をクリアする事例はあるのか。 付加要件が満足できずに辞退で失格となる事例が多い。配置技術者が2名となるので人数が限られている業者にとっては厳しい。
委員 事務局	配置技術者について、当初から2名はできないのか。 通常は1名である。低入札価格調査の場合は2名配置したうえで管理をしっかりしていただくことになる。
委員 事務局	低入札価格調査で施工可能ということになれば、下請に負担がかかるのではないか。 調査では下請との契約状況、技能者等の雇用状況も調査する。

委員長	手続は適切と判断してよいか。(各委員了承)
-----	-----------------------

⑥番号 49【平成30年度 第K14-14号 長命寺川広域河川改修工事】

東近江土木事務所 一般競争入札(簡易型)(低入札)

発注機関	(概要説明)
委員 事務局	週休2日チャレンジ型は実際に週休2日になるのか。 実績に応じて経費を支払うことになっている。おおよそ6割程度の工事で実施されている。
委員 事務局	他の工事で勤務していることはあるのか。 工事現場が休工している状況で把握しており、他の現場で勤務しているかどうかは把握していない。
委員長	手続は適切と判断してよいか。(各委員了承)

以上